



[1] (5) 白石・黒石の個数

(類題1)

白と黒の石を並べます。

[1] 図1のように並べて、最後に黒い石を置いたら、白い石だけが32個余りました。

[2] 図2のように並べて、最後に黒い石を置いたら、黒い石だけが28個余りました。

図1

残り 白32個

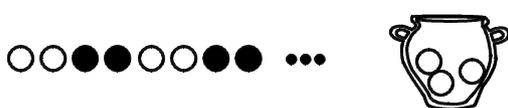
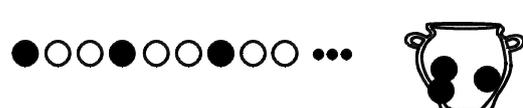


図2

残り 黒28個



[1] から、白い石の数は黒い石の数より ( ) 個または ( ) 個多いと考えられ、

[2] から、白い石の数は、黒い石の数から ( ) を引いた数の2倍であることが分かります。

以上から、白い石の数は ( ) 個または ( ) 個です。

[1] (6) 辺の比と面積

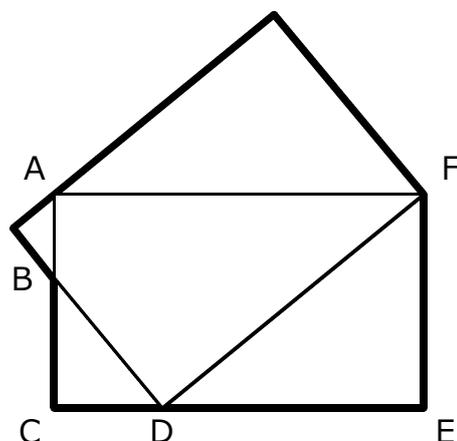
(類題1)

図のように2つの長方形を重ねてできた図形があります。

$AB : BC = 3 : 5$ で、 $CD : DE = 1 : 4$ です。

重なった部分の面積が $12.9 \text{ cm}^2$ であるとき、

太線で囲まれた部分の面積を求めなさい。





## 〔1〕 (5) 白石・黒石の個数

## (類題1)

ある店でケーキの箱づめ作業をしています。はじめにいくつかのケーキがあり、作業を始めると、1分あたり、はじめにあったケーキの数の10%の割合でケーキが追加されます。4人で作業をすると10分でケーキがなくなります。

(1) 6人で作業をすると、何分でケーキはなくなりますか。

(2) また、4人で作業を始め、途中から6人で作業をしたところ、4人で作業する時間と6人で作業をする時間を合わせて7分間でケーキがなくなりました。

4人で作業をしていたのは何分間ですか。

ただし、どの人も作業をする速さは同じです。

